

学習会のご案内

子どもたちを取り巻く デジタルメディア環境

その健康リスクと依存症を考える

講師: 上田昌文さん / 市民科学研究室 代表理事

日時: 7月5日(土) 13:30~15:30

会場: 市民活動センター プラッツ 第5会議室

※オンライン参加もあります

資料代: 200円

主催: 府中・生活者ネットワーク、まちづくり NPO エコメッセ
共催: 生活クラブ運動グループ 府中地域協議会



上田昌文さん

日本は、官民挙げて5Gを推進し、いまや5Gはスマホの標準装備となり、学校では「GIGAスクール構想」で1人1台端末所持の時代となり、子どもたちの健康への懸念を顧みることはありません。

日本とは対照的な国の一つにオーストラリアがあります。2024年12月に、16歳未満のSNSの使用を禁止する法律が成立しました(2025年の12月から施行)。「生徒の認知機能を考慮して、授業中の集中を妨げないようにするため」にロッカーにスマホで預かり校内で使用させない高校も出てきています(「校庭で遊ぶことが多くなり、友達付き合いも増えた」と生徒たちには好評とのこと)。米国では、史上最大規模の(10年間をかけて1万2000人を対象にした)研究が最終段階に入っていて、「デジタル機器の長時間の使用が子どもの脳の発達にどう影響するか」について新たな知見が得られてきています。それがオーストラリアや米国のいくつかの州などでの「スマホ使用制限」につながった、との報道もあります。

私たちの周りを見渡すと、「移動中にはスマホを使わないで!」との警告があふれています。家でも外でもひとりでも数人でも、スマホの動画やゲームで遊ぶ子どもたちがいます。もはやスマホを手放せない依存症のリスクは社会問題です。

個人や家庭環境の問題でしょうか? 改めて立ち止まって考える時ではないでしょうか。いったい何が起きているのか、問題は何かを、ともに考える機会としたいと思います。

お問合せ、申し込みは、生活者ネットワークまで、メールかお電話でお願いいたします
府中・生活者ネットワーク

TEL: 042-360-4443 e-mail: fuchu-snet@ric.hi-ho.ne.jp